

令和 7 年第 5 回東松山市教育委員会会議録

招集告示	令和 7 年 5 月 1 9 日			
招集期日	令和 7 年 5 月 2 6 日			
開会の場所	総合会館 3 階 3 0 1 会議室			
開閉の日時	令和 7 年 5 月 2 6 日 午後 1 時 3 0 分から 令和 7 年 5 月 2 6 日 午後 4 時 0 5 分まで			
議長	吉 澤 勲 教育長			
出席委員	教育長職務代理	稲 垣 孝 章		
	委 員	田 中 純 一		
	委 員	利根川 澄 子		
	委 員	寺 田 浩 之		
会議出席者	学 校 教 育 部 長	高荷和良	生 涯 学 習 部 長	田嶋靖洋
	こ ども 家 庭 部 長	神庭法子	学 校 教 育 部 次 長	澤田一彦
	生 涯 学 習 部 次 長	田島信子	こ ども 家 庭 部 次 長	加藤勝子
	教 育 総 務 課 長	須澤 理	学 校 教 育 課 長	長沢正博
	生 涯 学 習 課 長	上 敏文	ス ポ ー ツ 課 長	大木克彦
	こ ども 支 援 課 長	大石和夫	保 育 課 長	阿部康裕
	学校給食センター所長	竹間信行	市 立 図 書 館 長	荻野 裕
	埋蔵文化財センター所長	左納 徹	きらめき市民大学局長	小林玲人
	教育総務課副課長	石川太郎	教育総務課主事補	根津英怜
書記	教育総務課 根津英怜			

日程第1 開会

教育長 ただ今から令和7年第5回東松山市教育委員会会議を開会します。なお、本日は傍聴の申し入れがございませんが、議案第15号から第20号までが人事に関する案件、議案第21号が予算に関する案件でございますので、これらの部分に係る会議録は公開しないこととしたいと思いますがいかがでしょうか。

委員 [異議なしとの声あり]

教育長 それではそのようにします。

日程第2 会議録の承認

(令和7年第4回東松山市教育委員会会議録の承認)

日程第3 議事

教育長 これより議事に入ります。ここからは、人事に関する案件となりますが傍聴人がおりませんので、そのまま続けたいと思います。また議案第15号においては、寺田委員が任命候補者に含まれていますので、寺田委員は一時退席をお願いします。

【以下、非公開部分】

【以上、非公開部分】

教育長 ここで人事と予算に関する案件が終了しました。
次に、協議第3号「教育委員会の事務に関する点検評価について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

教育総務課副課長 (協議第3号について説明・第2点検結果の評価(評価調書)
Ⅱ 教育環境の整備・充実まで)

教育長 ただいまの基本目標2までについて、何か質疑はございますか。

寺田委員 13ページの評価指標について、中学2年生男子の実績値が令和6年は4となっていますが、結果の分析にある握力と長座体前屈以外の要因は何ですか。また、指標は全国平均とのことですが、県平均と比較するとどうでしょうか。

もう一つ、令和6年の中学2年生男子が3年前、令和3年の小学校5年生のときは実績値が7でしたので、下がった要因があれば教えてください。

学校教育課長 1点目の中学2年生男子は、反復横とびと50m走で、全国平均より少し低い結果となっています。

2点目の県平均との比較についてですが、全体的に県平均は全国平均より上回っています。小学校5年生男子は、6項目は全ての平均より上回っております。小学校5年生女子は、4項目、握力・上体起こし・立ち幅とび・長座体前屈が、県平均より少し下回りました。

3点目の小学校5年生から中学校2年生になり下がってしまった点については、一番体を動かすべき時期にコロナ禍の影響を受けたこと、普段から取組という基礎的な部分ができていなかったことが、この結果に繋がったと考えます。

寺田委員 小学校5年生女子や中学校2年生男女はコロナ禍の頃はそれほど悪くないので、当時の小学校5年生男子だけが、何かが足りないということはないと思います。

教育長 理由については少し検討していく必要があるでしょう。ほかにありますか。

田中委員 私から5点ほど。1点目、各課による記載をどこかの課で全体確認していますか。昨年度は教育総務課で確認したとのことで、前回の協議の際にもそのようにお願いしました。

2点目は9ページ、毎年指摘していますが、全国学力学習状況調査の結果の分析が、詳細な結果にしか見えません。例えば13ページの「運動習慣の強化が功を奏したと考えられる」といった仮説が各項目にあるのでしょうか。

3点目は17ページ、評価指標の結果の分析で、「学力中位層の伸びが他の層と比較すると少なく」とありますが、今後の方向性ではその中位層について何か対策はないのでしょうか。何か手立てがあれば教えてください。

4点目は19ページ、評価指標の中学校が、令和3年から比べて復帰率が下がっているのが気になります。復帰率が下がる要因、原因があれば教えてください。

5点目は25ページ、結果の分析に東松山市産食材の使用が限定的となった理由について、気温などで収穫量が減少して供給不足、燃料費及び肥料価格の高騰と理由がありますが、これらは東松山市に限らず一般的なことではないでしょうか。

教育総務課長 1点目について、各課が作成した報告を教育総務課で確認しています。文言の統一や、結果の分析を今後の方向性に活かすなど修正しましたが、至らない点もあったかと思います。

田中委員 1点確認させてください。8ページの、その他の主な取組③、下線部の「すにいかあ」ですが、こちらは用語集の「少人数教育（すにいかあプラン）」でしょうか。

教育総務課副課長 昨年度はこのページで、「少人数教育」という言葉が使われていました。文言が変わりましたので、用語集についても修正します。

学校教育課長 2点目について、9ページの全国学力学習状況調査の分析についてですが、仮説については各校ごとに立てているところです。また、分析については具体性が低いところもありますが、スタンダードにあるこうした力を伸ばす、という部分を重点的に指導してまいります。

田中委員 「変化と関係」や「話すこと・聞くこと」の対策が、学習指導スタンダードや学級経営スタンダードであり、毎年変更が加えられる、という認識でよいですか。

学校教育課長 スタンダードについては見直しをしています、大きく見直したのが令和5年度と令和6年度になります。スタンダードのこの部分が「話すこと・聞くこと」に繋がっている、という指導をしていく必要があるかと思います。

田中委員 「話すこと・聞くこと」に対して、こういう方針でこういう対策をして、その結果どう変わった、とあると、しっかり分析していることがわかると思います。そうした形で、具体的な結果が残せるようにしていただきたい。

学校教育課長 3点目について、中位層への手立てについては個々に応じた指導がまだ至っていないのが現状かと思います。今後、個別最適な学びができるような授業展開を指導していく必要があると思っております。

田中委員 ちなみに中位層というのは、上位層や下位層に移るなどで、減少することはあるのでしょうか。中位層は統計学的に、どこからどこまでという形なのでしょうか。

学校教育課長 中位層というのは、上位・下位25%の間をそう呼んでいます。

教育長 17 ページの手立てを少し具体的に、といったところですね。

学校教育課長 4 点目、復帰率につきましては、中学校においては不登校生徒が増加傾向にあります。1 人が復帰したとしても、復帰率としては低い値になりますので、人数はそこまで大きく変動はしておりませんが、実績値が低くなっております。

教育総務課長 5 点目については、結果の分析をする前に、いなほてらすの所長に東松山市産の農産物の価格が上がっている原因をお伺いしたところ、燃料費および飼料価格の高騰、という回答があったものです。

田中委員 他の地域の食材は、そうした影響があったとしても東松山市産より安いから使用している、ということでしょうか。

教育総務課長 仰る通りです。

利根川委員 何点か表記についてお聞きします。統一感を持って先ほど説明をいただきましたが、12 ページの重点取組の対象が「市立小・中学校」、「市内小・中学校」となっています。同じように、18 ページ、上の段の対象は「市立小・中学校」とありますが、下の段は「市立小中学校」となっています。22 ページにも重点取組の上は「市立小・中学校」、中は「小中学校図書館」、下は「市立小・中学校施設」と3つ全部違います。ここも全部揃えていただけるとよいと思いました。8 ページ、その他の取組の理科教育の振興で、「科学大好キッズを実施し理科好きの児童を増やす」とありますが、この「科学大好キッズ」は鍵かっこがあった方がよいと思いました。

13 ページ、その他の取組の運動部活動の充実で、「休日における部活動指導員の配置を行った」とありますが、部活動指導員は全ての依頼された学校に配置されたのか伺います。

学校教育課長 今年度、部活動指導員の配置を行うことが決まったところですので、こちらについては修正をさせていただきます。

稲垣職務代理者 まず、第1の点検評価の趣旨等の3において教育委員会活動が取り上げられていますが、事務局の調整によって教育委員の出席率が100%となったり、多くの学校へ訪問できたりしている点に感謝します。

1 点目、8 ページの重点取組1の結果の4行目、『年度当初には「学級開き研修会」とありますが、「学級経営研修会」とした方がよいと思います。

2 点目、9 ページの総合評価の今後の方向性、2 行目に個別最適な学びと協働的な学びの間の「と」が抜けていると思われます。

全体的に、この点検評価は何のためにやるかといえば、きちんと分析をすることが第一義であって、分析の結果を次のことに活かさなければ意味がないと思います。この後申し上げますが、こんなことをしたい、と記載があっても、何をしたいかがわからないことが多いです。例えば、9 ページの今後の方向性で、「スタンダード等を活用し、非認知能力を育成するとともに、確かな学力の確立を図る」とありますが、結果の分析ではいろいろ課題が挙げられています。それらと関連付けなければ、今後方向性にならないと思いますので、もう少し書き込んでほしいと思います。

1 0 ページ、その他の取組の 5 に「清掃活動や地域行事への参加など」とありますが、可能であれば、中学生がよく頑張っているリーダーマーチ等の地域行事を入れてはどうでしょうか。

1 1 ページの結果の分析で「動機づけ」とありますが、教育用語では「動機付け」と使うことが多いです。また、今後の方向性にある「児童生徒が自発的に行動できる力」は、どのようにその力をつけるのか、が全くわかりません。その下の「継続的な支援体制の構築」も、どのような支援体制のことかわかりません。言葉では書いてあっても、方向性が何か見えないという感じで、こうしたところはしっかりと書き込んでいただきたい。

1 3 ページ、今後の方向性に「心身のバランスが取れた教育環境の提供」とありますが、どのような教育環境を提供したいのか、よくわかりません。

1 7 ページの今後の方向性に「授業改善のサポートを強化し」とありますが、どのような授業改善のためにどのようなサポートを行うのか、可能な範囲で記載していただきたい。

1 9 ページの今後の方向性「個々の児童生徒の悩みを把握するための関係づくり」とありますが、これはどんな関係づくりなのか。また、この後の「SOS の発信の仕方を学ぶ機会」についても具体的な方策が見えてきません。

2 1 ページ、小中一貫教育のことが記載されていますが、桜山小と白山中のことだけではその一部に過ぎませんから、この成果を市内に広げていくことを記載していただきたい。

2 3 ページの総合評価に「家庭や地域と連携」とありますが、具体的にどうしたいのか方向性が見えませんので、もう少し記載してください。

例えば 2 5 ページの今後の方向性はわかりやすいと思いました。「食についての正しい理解や望ましい食習慣の形成のため」と目的を示し、「食育だよりやランチたいむ通信などを引き続き発行」とい

う具体策とともに、「各学校の要望に応じた食育事業と保護者向けの試食会を行い」とまとめています。このようなイメージで、連携とか協力といった言葉で濁すということではなく、ある程度具体的な方向性を可能な範囲で書き込んでいただきたい。

教育長 26ページ以降について、説明をよろしくをお願いします。

教育総務課副課長 (26ページから44ページまで説明)

教育長 それでは説明が終わりました。この部分について何か質疑はございますか。

田中委員 1点目は、28ページの重点取組1の結果の中で、「家庭内での会話の増加や読書への関心の高まりといった肯定的な変化が見られた。」とありますが、どこからその変化が見られたと判断したのか。12ページや16ページにも同様の記載があるので、アンケート調査などの根拠があるのでしょうか。

2点目は、35ページの評価指標には、昨年度に閉館したなしの花図書室が指標となっています。昨年も指摘しましたが、結果の分析にも「電子書籍の普及」とあるように、普及が進んでいる現状がありますので、電子図書館の実績も指標に加えてはどうでしょうか。

学校教育課長 1点目については、子供達からの聞き取りや、道徳における振り返りでの記載によって教員が判断しているものを、教育委員会が教員から吸い上げて、全体的に判断しています。

市立図書館長 2点目についてですが、なしの花図書室については、令和6年9月29日に閉室しておりますが、令和6年度の実績ですので、記載しております。令和7年度以降については、記載はなくなると考えています。

電子図書については、次回以降は指標に記載することを検討しています。なお、電子図書の実績については、令和6年度で約2,000件です。

田中委員 電子図書の実績が約2,000件というのは、小・中学生の実績ですか。

市立図書館長 大人を含めた全体の実績となります。

利根川委員 28ページの重点取組1の目標に、「ノーゲームデーの実施割合89.5%」とありますが、数字のみではなく、〇%以上とする、というように文章にしていだきたい。同様に、10ページ、30ページもお願いします。

42ページ、評価指標の結果の分析に、「会員の高齢化による団体の減少」とありますが、この1年間で新たに文化芸術活動を始めた団体やサークルはありますか。

生涯学習課長 文化芸術団体全体については把握してはおりません。文化団体協議会については退会と加入があり、17団体と変わっておりません。

利根川委員 文化団体協議会の団体数には、上限があるのでしょうか。

生涯学習課長 数年前は20団体ありましたが、現在は退会のため17団体になっています。新たに加入して活動したい団体があれば、上限はないので増やすこともできます。

稲垣職務代理者 35ページ、今後の方向性の1つ目に「活性化を図る」とありますが、そのために何をしたいか、がよく分かります。このようなイメージで今後の方向性を書くとういと思います。

27ページの今後の方向性の3つ目、「教育活動への参画機会を広げる」とは、どういうふうに広げるのか、全てを書けないとは思いますが、具体性が見えるような書き方がよいと思います。

29ページの今後の方向性の1つ目の「家庭教育の重要性」も、どんな重要性があるのか書けないか。また結果の分析で、ゲームやスマートフォンの使用を控えることは大事ですが、適切に活用するという表現の方がよいのではないのでしょうか。

31ページの今後の方向性、「地域資源をさらに活用」してどのようになるのか、「地域の教育力を更に向上」させてどのようになるのか、方向性が見えないと思います。

33ページの今後の方向性、「生涯の各期に応じた学習活動」とありますが、方向性が見えないと思います。

41ページの今後の方向性、「市内の文化芸術活動に対する支援」とありますが、どんな支援を考えているのか、見えないと思います。

42ページの今後の方向性、「イベントの実施時には既存団体等との協働を図る」とありますが、どういう協働を図るのか、言葉ではわかりますがイメージが見えないと思います。

43ページの今後の方向性、「文化財の保存と活用」はどう活用しようとしているのか、どう管理しようとしているのか、見えないと

思います

44ページの今後の方向性、「更なる文化財の啓発を行う」とは、どのように何を啓発しようとしているのか、手立てが何なのかがわかるように書くと納得できます。

可能な範囲で結構なので、今後の方向性について検討してください。

教育長 たくさんご意見ご指摘をいただきました。それぞれの課で、意見を踏まえて検討を進めてください。以上で協議第3号は終了します。

教育長 次に、報告第14号「東松山市立保育園の指定管理者の指定について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

保育課長 （報告第14号について説明）

教育長 説明は終わりました。これより質疑に入ります。本件につきまして、何か質疑はございますか。

寺田委員 東松山市で既に実績があり、選定理由も得点も良いということですが、これまでに何かトラブルやクレームについて情報があれば教えてください。

保育課長 アートチャイルドケアにつきましては、平成28年度から公立保育園の指定管理を受けています。細かいクレームはありますが、大きな事故やクレームは今のところありません。

教育長 細かいクレームとはどのようなものですか。

保育課長 たまたま親御さんが来た際にこどもを押さえつけているような様子が見られた、などありますが、よく事情を聞き虐待や不適切保育ではなかったことは確認しています。

稲垣職務代理 長い付き合いだからこそ、今年はここに注視してやってもらいたいなど、こちらからの何か要求していくべきだと思います。新たな要望や指導を考えていますか。

保育課長 仕様書の中で、医療的ケア児の受け入れについて追加しましたが、毎年、医療的ケアが必要な児童が入園するわけではありません。通常の保育についても保育課で定期的に園に赴いたり、保育士から話を聞いたりして、現場の状況について把握していきたい。また、アートチャイルド

ケアは毎年の保護者全員のアンケート調査等も行っており、保護者の満足度を図っています。

稲垣職務代理 しっかりと言うべきことを言う、指導すべきことを指導できる関係はあるのでしょうか。

保育課長 公立保育園につきましては、アートチャイルドケアと直営の松山保育園で毎月1回、園長会議を開き、情報交換を行っています。県の監査も定期的に受けておりますし、アートチャイルドケアでも内部で細かくマニュアルなどで運営について定め、自社の監査も行っております。そのため保育の質が一定程度は継続して保たれていると考えております。

稲垣職務代理 いずれにしても応募が1社なので、このような手立てを打っているということをこちらも提示していくことによって、さらに良い意味での緊張感を持てるよう、これからもご指導ください。

教育長 ほかにないようですので、質疑を終了いたします。

日程第4 教育長報告

教育長 次に教育長報告に移ります。まず、私の方から報告を申し上げまして、次に学校教育部長・生涯学習部長・こども家庭部長以下で引き続き報告します。

◎主な行事日程について説明

学校教育部長 特にございません。

生涯学習部長 特にございません。

こども家庭部長 特にございません。

教育長 報告は終わりました。ただ今の件について、何かございますか。

教育長 そのほかに、委員の皆様からは何かございますか。

稲垣職務代理 4点ほど申し上げます。

1点目は、学校訪問をした際に、転落防止用の窓ストッパーが修理されてない学校がありました。東松山市では不幸な事故も起っているのですぐに学校に対応するようにご指導いただきたい。

2点目は、多くの学校で玄関に椅子が置いてあり、座って靴を履けるようになっていますが、その椅子が何のために置いてあるのかわからないので、表示についても指導していただきたい。

3点目は、廊下や階段のセンターラインがかなり消えているので、学校と相談して対応をお願いします。

4点目は、学校だよりについて、未だに校長名がない学校があります。校長の氏名を書くよう指導していただきたい。

教育長 ほかにないようですので、以上で教育長報告を終了します。

日程第5 会議録署名人の選任

教育長 続きまして、会議録の署名人の選任についてですが、本日の会議録の署名については、稲垣職務代理をお願いします。

日程第6 閉会

教育長 以上で、本日の東松山市教育委員会会議を終了します。

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年 6月23日

教 育 長 吉 澤 勲

委 員 稲 垣 孝 章

書 記 根 津 英 怜